

地域を考え、時代を創る、新しい日本を一緒に作りましょう。



# Heart to Heart

Smile man 510

## 後藤しげゆきニュース

2003  
冬季号  
Vol.26

発行/後藤茂之 後援会

[ホームページアドレス] <http://www.510.to> [メールアドレス] [goto@510.to](mailto:goto@510.to)

●諏訪事務所/〒392-0017 諏訪市城南1-2542 ●塩尻事務所/〒399-0738 塩尻市大門七番町5-12 ●木曾事務所/〒397-0000 木曾郡木曾福島町上塩淵2690



▲小泉純一郎総理大臣と。力が入ります。



議事堂にて地元小学生に囲まれ質問せめに会う代議士。

初当選以来三年私なりに懸命にがんばって参りましたが、これもひとえに皆様に支えて頂いたおかげと心から感謝申し上げます。これまでの政党や派閥といった古い枠組みを超えた政策中心の新しい政治を実現すべきとの保守改革の志は、政治の世界に進もうと決心した時から全く変わってお

りません。今私達の目の前にある経済、年金・福祉、犯罪、教育、外交・安全保障などの諸問題について、単に批判や反対をするだけでなく政権内部から一つ一つ現実に改革を進めます。自民党若手改革派の一人として、自民党の国民から批判を受けている古い体質には勇気を持って立ち向かいます。地元の美しい自然や伝統を守り、ものづくり、農業、商業、観光など元気な地域づくりを行うとともに、すべての人に開かれた心豊かな社会の実現のために皆でがんばりましょう。

# 保守改革の志は変わらない。

## 公約を一つ一つ。



経済構造改革路線については？

経済構造改革なくして経済の回復が望めないことは、この十五年間の経過やアメリカ・イギリスの例をみても明らかです。ただし、合わせてデフレ対策、セーフティネット対策など痛みをやらなければならないことが肝要です。

三十人学級については？

三十人学級を前提とした予算措置を行った上で早急を実現すべきです。教育こそがすべての人に開かれた社会を実現するための第一条件です。

消費税率については？

成就化社会の進展とともに社会保障・福祉の財源として将来的に消費税率の引き上げは避けられないと考えますが、まずは徹底した行革、ムダの見直しを図ることが先決です。安易な引き上げは、行革、歳出構造の見直しのさまたげとなります。

前回民主党だから投票した人への説明は？

民主党だから投票したという方には率直に申し訳ないと思います。しかし、その当時私や多くの人が期待した民主党と政策の基本理念がバラバラで党内もまとまらず批判するだけに終わっている現在の民主党の姿との間に大きなギャップが生じているとも考えます。私は、これまで通りの保守改革の志を貫いて一つ一つ現実に改革に取り組んでいく覚悟です。

今回の民由合併については？

党内の外交・安保・エネルギー政策など国家基本政策に関する違いがあります。広がり、党として統一的な方針が出せないことが問題となるでしょう。

プライベートに目標としている減量は？

微減です。このままこの傾向を続けたい。ご協力をお願いします。(笑)

# 語る

後藤代議士

Q & A